

道場心得

合気道多田塾道場心得、及び合気道凱風館内規に準ずる

【道場心得】

- 一、礼儀作法は正しく、規律を守り、指導者の教えに忠実に従うこと。
- 二、道場に入場する時は、玄関で帽子、手袋、コート等をとり正面に一礼してから師範に來場の旨を述べ、更衣室で稽古着に着替えること。
- 三、稽古開始の時間に遅れたときは、呼吸法、鳥舟が終わるまでは入出場せず道場外で待機すること。
- 四、道場内ではお互いに和を尊び、明るくのびのびと稽古に励むこと。
- 五、稽古は真剣に、素直に行い、怪我過ちの無いように心がけること。
- 六、一人稽古を充分に行うこと。
- 七、人の技を批判しないこと。
- 八、杖、木刀を使用する時は、作法に則り正しく行うこと。
- 九、稽古着は常に清潔にすること。
- 十、稽古が終わったら必ず道場を掃除し、きれいな環境の中で稽古が出来るようにすること。
- 十一、道場内は禁煙とし、酒気を帯びた者には入場を禁じる。
- 一二、道場内での私語は稽古の妨げとなるので慎むこと。
- 十三、見学者も道場内の秩序に協力し、見学の許可を得てから所定の場所で正座して見学すること。
- 十四、他の道場に行き稽古をする時も、その道場の規則をよく守り、器物等には一切手を触れないこと。

【一般作法、畳の上での注意】

- 一、日常生活の言葉遣い、立ち居振る舞いと合気道の稽古とは、同じと心掛けること。
- 二、人前を横切らないこと
- 三、扉の開け閉めの際には、前後に人がいないか気を付けること。
- 四、物を受け取る時、渡す時は両手で行うこと。
- 五、相手が畳に座っている時に、挨拶する、話をする、物を渡す時は、自分も座ること。
- 六、座った人の後ろに立たないこと。(座った人の後ろに立つのは、首切り役人だけであった)